

平成27年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 書写（1/2 枚目）

| 発行者名 調査の観点 | 東京書籍 | 学校図書 | 三省堂 | 教育出版 |
|--|---|---|--|---|
| <p>1 内容</p> <p>(1) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。</p> <p>(2) 児童の発達段階に対する配慮されているか。</p> <p>(3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。</p> <p>(4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。</p> <p>(5) 児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p> | <p>(1) 各学年ごとのめあては明確に示されている。</p> <p>(2) 児童の発達段階に応じて、課題が設定されている。硬筆・毛筆共に入門期の指導はイラストを使い、実際に自分の手を重ねるなどの丁寧な指導をしている。</p> <p>(3) 系統的な指導を行うことができるような内容設定になっている。内容は多すぎず無理なく取り組めるようになっている。</p> <p>(4) 児童が取り組む際にどのようなことを考えて学習に臨むのか分かるよう、マークを活用し記載している。</p> <p>・低学年ではシールの活用を取り入れ、意欲を引き出す配慮がされている。書写に関連する道具ができるまでを紹介したページがあり、児童の興味・関心をひく工夫がされている。</p> <p>(5) 発展的な学習に関して学習した内容を日常の学校生活の中で活用できるよう、カードや寄せ書きの書き方などにも言及がある。</p> <p>・発展的な学習が多い。他教科に活かせる指導内容が盛り込まれている。</p> | <p>(1) それぞれの学年の目標に応じた指導内容になっている。各学年のめあてが明確に示されている。</p> <p>(2) 児童の発達段階に応じて、課題が設定されている。マスを4つの部屋に分けてひらがな指導への配慮がある。</p> <p>(3) 内容はやや多いが、硬筆のなぞり書きの指導は充実している。</p> <p>(4) 書写に関連する道具ができるまでを紹介したページがあり、児童の興味・関心を引く工夫がされている。</p> <p>・低学年ではできたらシールで学習意欲を喚起しようとしている。3年生以上はマークを書くようになっている。</p> <p>(5) 発展的な学習に関しては、5年生では資料としてメモの取り方や読みやすく書く工夫についての記載や巻頭に筆記用具の選択について記載がある。</p> | <p>(1) それぞれの学年の目標に応じた指導内容になっている。これまで学習した基本点画がまとめて記されている。</p> <p>(2) 児童の発達段階に応じて、課題が設定されている。入門期の毛筆指導ではシンプルに大切なポイントが示されている。</p> <p>・指導内容が精選された中で早い時期にひらがなが扱われている。</p> <p>(3) 系統的な指導を行うことができるような内容設定になっている。</p> <p>・1年生では、「ゆびでなぞろう」という項目を入れ、段階的に指導できるように工夫されている。</p> <p>(4) 児童が取り組む際に立ち戻ることができるよう、運筆の仕方や姿勢について写真などを活用して表示している。</p> <p>(5) 発展的な学習に関しては、6年生においてパネルディスカッションなどの例を持ち出したり、行書についての記載があったりする。</p> | <p>(1) 高学年では学習内容の量が多くあり、計画的な活用が必要である。また、毎時間の目当てが示され、振り返りの欄もあり自己評価ができるようになっている。</p> <p>(2) ひらがな指導では、1まずを4つの部屋に分けていたり、指でなぞり書きをする指導があったりと丁寧である。</p> <p>・毛筆入門期の指導では、道具の置き方や姿勢、筆の持ち方などがきちんと示されている。</p> <p>(3) 硬筆から毛筆に移る際に見通しが立つよう発展で扱うなど系統的な指導を行うことができるような内容設定になっている。</p> <p>(4) 「知りたい文字の世界」というコーナーでは学習した内容を日常生活で活用できるように示され、興味・関心を引き出す配慮がある。</p> <p>(5) 発展的な学習に関しては、5年生において横書きの書き方や筆記用具の選択などの記載がある。</p> |
| <p>2 構成及び分量</p> <p>(1) 内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。</p> <p>(2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p> <p>(3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p> | <p>(1) 「書写の跳び箱に挑戦」のコーナーで明示されているように系統性や学年間のつながりなどを意識して構成されている。</p> <p>・発展的記述が多く、3年生以上では情報量が多く、内容がやや高度である。</p> <p>(2) 分量について児童の発達段階を考え構成されている。</p> <p>(3) 姿勢や運筆などについてカラーで写真などを使い記載されている。</p> <p>・発達段階に応じた「生活に広げよう」という課題があり、学んだことを生活の中で活かせるような工夫がされている。</p> <p>・穂先を意識して運筆をするよう配慮されている。</p> <p>・書き初めの手本が大きく分かりやすい。低学年は書き込みの部分が多い。</p> | <p>(1) 3年生以上では、毛筆と硬筆をバランスよく取り扱っている。</p> <p>(2) 分量について児童の発達段階を考え構成されている。低学年の指導に書き込みが多い。</p> <p>(3) 基礎的な姿勢や運筆などについてカラーで写真などを使い記載されている。</p> <p>・発展と明示されている教材が少ない。低学年は書き込みの部分がある。</p> | <p>(1) 系統性や学年間のつながりなどを意識して構成されている。「ひろげよう」という項目で、年間2回程度、生活の中で取り入れられそうな発展的な学習を取り入れている。</p> <p>(2) 分量について児童の発達段階を考え構成されている。</p> <p>(3) 基礎的な姿勢や運筆などについてカラーで写真などを使い記載されている。低学年は書き込み部分が多い。</p> | <p>(1) 各教材の後に「トライアンドチャレンジ」として教材に関連した発展的教材が示されている。加えて「はってん」という項目があり、当該学年より上の指導事項を示すことで、学習する内容の見通しをもつことができる。</p> <p>(2) 毛筆だけでなく、硬筆の内容も充実しており、段階的な学習を行えるようになっている。また、他教科とのつながりも示されており、発展的に扱うことができる。</p> <p>(3) 相手意識や目的意識が設定された発展的な教材が多く、きめ細やかな指導が行えるような構成になっている。</p> |
| <p>3 表記及び表現</p> <p>(1) 児童にとって読みやすい表現であるか。</p> <p>(2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p> | <p>(1) 説明は丁寧であり、3年生以上の学年では情報量が多い。また、お手本の左側にこれまで学習したことが色分けされていて示されている。</p> <p>(2) 穂先の動きの写真が多く取り入れられていて分かりやすい。とめ・はね・はらいの部分が拡大されていて理解を促すよう配慮されている。</p> <p>・半紙サイズの手本がありそのまま活用できる。</p> <p>・漢字の筆順が色で分かるようになっている。</p> | <p>(1) 1ページあたりの文字分量も適当で読みやすい。キャラクターを上手に使い、指導のポイントを分かりやすく説明している。</p> <p>・4年生以上の「文字の大きさと配列」に工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年ではイラストを中心に、中学年ではイラストと写真を使って学習のポイントが示されている。</p> <p>・毛筆学習の始めでは道具の扱いについて写真で説明されている。</p> <p>・半紙サイズの手本がありそのまま活用できる。</p> | <p>(1) 余計な情報が少なく見やすく分かりやすくなるよう工夫されている。若干難しい表現もみられる。</p> <p>・半紙サイズの手本があり、そのまま活用できる。</p> <p>(2) 写真が少なく、挿絵で説明している。</p> <p>・色遣いが少なくシンプルで、落ち着いて取り組めるようになっている。</p> | <p>(1) 1ページ当たりの文字量が多いが、その分説明が丁寧である。</p> <p>・書写への導入が各学年に用意されている。</p> <p>・1・2年生の鉛筆の持ち方や姿勢、3・4年生の筆の持ち方や姿勢といった基礎的なことから字形やバランスなどが理解しやすいような表示になっている。</p> <p>(2) イラストや写真などを使用し分かりやすくなるよう工夫されている。</p> |
| <p>4 使用上の便宜</p> <p>(1) 全体の構成が見通せるように配慮しているか。</p> <p>(2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。</p> <p>(3) 印刷・装丁に対して配慮しているか。</p> <p>(4) 地域性に対して配慮しているか。</p> | <p>(1) 全体の構成が分かりやすいよう配慮し構成されている。</p> <p>・3年生以上の学年では、目次を見てどんな字を書いていくのかが分かる。</p> <p>(2) 学習の流れに配慮して構成されている。毎時間学習の振り返りがあり、既習事項を確認することができる。</p> <p>(3) どの学年においても多色を使い、児童が運筆や字形などを意識できるように組み立てられている。</p> <p>・何を学習しているのか分かるよう左端にインデックスがつけられている。そのため、B5版の大きさより少し横幅が広い装丁になっている。</p> <p>・書き初めの手本が大きい。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>(4) 特に地域性への配慮は見られない。</p> | <p>(1) 児童が学習に取り組む際に気を付けねばならないことに関して細かく注意書きがあるなど配慮されたつくりになっている。</p> <p>・手本→説明という流れが別ページに分かれることにより、注意点を児童と確認してから手本を見て課題に取り組むなどの組立がなされている。</p> <p>・毛筆と硬筆のページがまとまっている。</p> <p>(2) 学習の振り返りはあるが、内容はとてもシンプルである。</p> <p>・毛筆学習の進め方のページでは児童が陥りやすいミスの例示を掲載して指導効果を高めている。児童が筆順などを意識できるように組み立てられている。</p> <p>(3) 紙の色が白いので、はっきり字が読める。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>(4) 特に地域性への配慮は見られない。</p> | <p>(1) 全体の構成が分かりやすいよう配慮し構成されている。目次もすっきりしており、1年生の目次を最後のページにするなどの工夫もある。</p> <p>(2) 見開き1ページで手本と注意を示すなど、学習の流れに配慮して構成されている。</p> <p>(3) 注意事項の箇所では多色を使い、児童が筆順などを意識できるように組み立てられている。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>(4) 特に地域性への配慮は見られない。</p> | <p>(1) 全体の構成が分かりやすいよう配慮し構成されている。3年生以上では、目次にどんな文字を書いていくのかが一目で分かるようになっている。</p> <p>(2) 課題解決学習の基礎となる「学習の進め方」が示され、見直しをもち取り組めるようになっている。</p> <p>・鉛筆の持ち方や姿勢を確認することができるようになっている。</p> <p>(3) 色を使い、児童が運筆や字形などを意識できるように組み立てられている。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>(4) 第3学年「はがきの書き方」では、宛名の例として「八王子市台町」が表記されている。</p> |
| <p>5 総合所見</p> <p>(1) 教科の指導及び児童の学習活動の観点から総合的にみてどうか。</p> <p>(2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p> | <p>(1) 毎時間の指導・構成は丁寧ではあるため情報量が多い。また発展的学習も多く設定されている。</p> <p>・巻末の漢字のまとめに書き順の記載がなく、字形を意識させるための4分割の線がない。</p> <p>(2) 具体的な生活場面における活用について言及されている。</p> <p>・低学年は書き込む場所が多い。相手意識をもたせた課題設定が多い。</p> | <p>(1) 児童が学習を進めるにあたり、バランスよく取り組むことができる。入門期では、児童の発達段階を考慮した書き込みなど内容は全体的に良く考えられている。鉛筆の持ち方の指導の取り扱いが少ない。</p> <p>(2) 5年生の教科書においてひらがなの成り立ちについてや和紙についての記載があるなど知的な興味・関心がわくような構成がなされている。</p> <p>・内容分量など全体的に充実している。発展で行書を大きく取り上げている。</p> | <p>(1) 児童が学習を進めるにあたり、バランスよく取り組むことができる。文字を一字一字丁寧に書いていく構成となっている。</p> <p>(2) 5年生の教科書において原稿用紙の書き方や手紙（便箋）の書き方など具体的な生活場面における活用について言及されている。</p> <p>・硬筆のページに書き込める欄が多い。基礎的な書写力を習得することに力点が置かれている。</p> | <p>(1) 児童が学習を進めるにあたり、バランスよく取り組むことができる。若干説明が多いが、計画的に取り組んでいくことでより充実した学習につながるようになっている。</p> <p>(2) 入門期の4つの部屋では、色分けがされ、より分かりやすい工夫がなされている。</p> <p>・世界の文字など国際的な内容を巻頭にもってくるなど改訂が図られている。</p> |

| 発行者名 調査の観点 | 光村図書出版 | 日本文教出版 |
|---|--|--|
| <p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対する配慮されているか。 (3)各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。 (4)児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。 (5)児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p> | <p>(1) 1年生の入門期の指導では、えんぴつの持ち方、姿勢、そら書きなど、段階を追って細かな配慮がなされている。毛筆の入門期の指導も同様である。 ・高学年では目次のページに学習の見通しが示されている。 (2) 前学年で習った漢字を示すなど、系統的な学習ができるよう組み立てられている。 (3) 低学年ではキャラクターや写真を使い、より内容が分かりやすいように配慮されている。また、学年が上がるごとにキャラクターや写真の量は減り、手紙の書き方や漢字教室へと発展させるなど、学年にあった内容となっている。 (4) 「もっと知りたい」というコーナーあり、児童が書写により興味・関心をもてるように工夫されている。 (5) 他の教科や学習、生活に生かすことができるよう筆記用具の選択についてや手紙の書き方などの資料があり、発展的な内容も視野に入れたつくりになっている。</p> | <p>(1) 「思い出にして書こう」のページでは、これまでに学習した基本点画がまとめられて記されている。各学年の目標やめあてが目次に示されている。 (2) 入門期のひらがな指導では、えんぴつで書き始める前に「ゆびでなぞってみよう」の指導がある。 ・1ますを4つの部屋に分けて、指導している。特に入門期のひらがな指導では、ワークとして直接書き込む量が多い。 (3) 系統的な指導を行うことができるような内容設定になっている。「考える」「たしかめる」「いかす」の三段階を踏み、分かりやすく学習を進められるように配慮されている。これまでに学習した筆遣いが記されているページがある。 (4) イラストのデザインは、低学年の入門期において興味・関心をもって取り組めるように配慮されている。 (5) 発展的な学習に関しては、広がる学びとして横書きの文章を記載するなど取り扱っている。</p> |
| <p>2 構成及び分量 (1)内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。 (3)教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p> | <p>(1) 学習のめあてが大きく書かれており分かりやすい。目次では既習の内容を振り返りながら、各学年で学ぶことを示すなど系統性を意識して構成されている。 ・3年生以上では、「学年で習う漢字」に硬筆・毛筆の両方が併記されている。また、学習したことを生かして発展学習へと繋げていく構成も分かりやすい。 (2) 硬筆・毛筆の入門期の指導では、段階を追って細かな配慮がなされている。 (3) 「国語の学習に生かそう」の学習内容が設定されており、国語との関連性を持たせながら指導できる。高学年は、発展的で分かりやすい資料が盛り込まれている。見本も提示されている。</p> | <p>(1) 各学年に「広がる学び」や「もっと書こう」の発展学習が設定されており、充実した内容の取扱いとなっている。高学年は「行書で書いてみよう」というページがあり、児童の興味・関心を高めている。 (2) 分量について児童の発達段階を考え構成されている。 (3) 基礎的な姿勢や運筆などについてカラーで写真などを使い記載されている。また「広がる学び」では、学習したことのポイントが発展学習での配慮もされている。 ・「もっと書こう」のページでは、ノート、絵日記、作文、ポスター等、国語の学習と関連付けている。</p> |
| <p>3 表記及び表現 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p> | <p>(1) お手本となる字のページにも説明やポイントなどが入っているため、やや情報量が多いが、丁寧で分かりやすい。 (2) 硬筆・毛筆の入門期の指導では、筆圧や筆の運びを写真やイラストを使って説明しており、分かりやすい。 ・毛筆では穂先の正しい位置をイラストで表示するなどの工夫がある。 ・毛筆では半紙サイズの手本と、書初め用の長い手本があり、活用しやすい。毛筆の手本の文字がはっきりしている。</p> | <p>(1) イラストや写真などを使用し見やすく分かりやすい教科書になるように工夫されている。写真は多くないが、イラストやキャラクターを使って表記している。 (2) 全体的に見やすく、書き順を一画目から丁寧に書いていくため、字が小さい。</p> |
| <p>4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見通せるように配慮しているか。 (2)課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。 (3)印刷・装丁に対して配慮しているか。 (4)地域性に対して配慮しているか。</p> | <p>(1) 2年生以上の目次は見開き1ページを使い文字も大きく見やすい。 (2) まとめのページなどで、自分で課題を見つけて取り組むよう意識づけようとしている。 ・発展的な内容が資料としてまとめられている。児童が穂先の動きや筆の流れなどを意識できるように組み立てられている。 (3) イラストなどを上手に使い、課題解決のための指導が分かりやすく示されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 (4) 特に地域性への配慮は見られない。</p> | <p>(1) 説明→手本という流れが見開きページで見えるようになってることにより、注意点を児童が意識しながら手本を見て課題に取り組むなどの組立がなされている。 ・「考える」「たしかめる」「いかす」の項目があり見通しをもって進められるようになっていく。 (2) 「字を整えて書こう」ということに焦点を当てて編集されている。 (3) どの学年においても多色を使い、児童が筆順やつくりなどを意識できるようになっている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 (4) 特に地域性への配慮は見られない。</p> |
| <p>5 総合所見 (1)教科の指導及び児童の学習活動の観点から総合的にみてどうか。 (2)現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p> | <p>(1) 筆記用具の選択や言語活動での活用などを意識的に盛り込むなど、児童の学習が生活や他教科での活用に広がるように配慮し作られている。 ・入門期の学習内容がしぼられている。また、高学年では、発展的な資料が多く、指導の参考になる。学習のポイントや説明が丁寧に記述されている。 (2) 筆の動きに対して、児童が理解しやすいように配慮されている。 ・低学年ではえんぴつの持ち方の指導がきめ細かく、直接書き込める部分も多い。</p> | <p>(1) 児童の学習が生活や他教科での活用に広がるような取り組みに関してまとめて後半に記載してある。学習内容が分かりやすくまとめられていて、見通しをもって取り組める。 (2) 1時間ごとの学習において、児童の生活に還元できるよう意識的に構成されている部分がある。 ・巻末の漢字表では、書き順が数字ではなく、「書き順別」に字が記載されている。</p> |